

## 第1回津島市地域福祉えがおのまち計画策定委員会 議事概要

日時：令和元年9月17日（火）

午後2時～

場所：津島市総合保健福祉センター  
3階 第1会議室

出席委員：黒田委員、平野委員、片岡委員、浅井（彦）委員、濱田委員、光田委員、  
藤原委員、山本委員、村上委員

欠席委員：日比委員、花井委員、仲本委員、武藤委員、沢田委員、水谷委員、野田委員

傍聴人：0名

### ＜次第＞

1. 委員長互選および副委員長指名
2. 津島市地域福祉えがおのまち計画概要及び策定スケジュールについて
3. 津島市地域福祉えがおのまち計画平成30年度進捗状況について
4. 市民アンケート調査項目について
5. その他

#### 1. 委員長互選および副委員長指名

- ・互選により、平野委員が委員長に選任された。（異議なし）
- ・平野委員長により、片岡委員が副委員長に指名された。

#### 2. 津島市地域福祉えがおのまち計画概要及び策定スケジュールについて

事務局より説明

＜質疑等なし＞

#### 3. 津島市地域福祉えがおのまち計画平成30年度進捗状況について

事務局より説明

委員：平成30年度に地域支えあい懇談会を廃止して、代わりに認知症サポーター養成講座を実施していくということだが、懇談会の開催とサポーター養成講座の実施を同時並行で実施しても良いのではないか。懇談会を廃止する経緯はどのようにになっているか。

事務局：高齢介護課としては認知症高齢者の支援に重点を置いた見守り体制が必要であると考え、幅広い世代の見守りを実施してもらえるよう認知症サポーター養成講座にて認知症の方への理解を深め、地域の見守りネットワークを再構築することとした。

委員：コミュニティ推進協議会における専門部会の設置について、設置数が目標

値を超えているにもかかわらず、評価はCになっている理由は何か。

事務局： 数としては設置できたが、実際の活動内容はまだ発展段階にあり、充実させていくことが難しかったため。

委員： 進捗管理にあたり、目標値が累計の目標なのか年度別の目標なのかを明確にしたほうが良い。また、評価基準を明確にしたほうが良い。

事務局： 今後の参考にさせていただく。

委員： 避難行動要支援者の支援について、災害時には支援者も被災する。行政も警察も消防も出動できないということになるかもしれない。行政として、今後の対応をどう考えているか。

事務局： 危機管理課が中心となり情報開示に同意した避難行動要支援者の名簿を作成し、地域の方に提供した。名簿を活用した支援体制の構築に向け、地域と話し合いを進めている。

#### 4. 市民アンケート調査項目について

事務局より説明

委員： 市民アンケートの結果より民生委員、幼稚園、保育園などのアンケートの方が計画に反映されやすいのではないかと思うが、市民のアンケートから出てくる項目を、どのように計画につなげていくかが重要である。

事務局： アンケート等の意見については、可能な限り計画に反映していく。

#### 5. その他

委員： 現状の問題点として、地域福祉が十分知られていないことが挙げられる。福祉というと保障のように貰えるようなイメージを持つ人も多い。啓発運動が必要だと思う。

事務局： これまでの計画でも意識啓発について取り組むとしているが、内容を再検討し、次期計画を策定していく。

委員： 本計画以外にも市には色々な計画があり、事業内容等には非常に良いことが書いてあるが全然できていない。まずは何かひとつを重点的に行うなど、計画が絵に描いた餅にならないようにしてほしい。

事務局： ご指摘のとおり、計画を立てるだけではなく、何かひとつを重点的に行うという視点が大事だと思っている。少しでも形にできるよう努める。

その他、事務局より次回策定委員会の開催時期について事務連絡。